

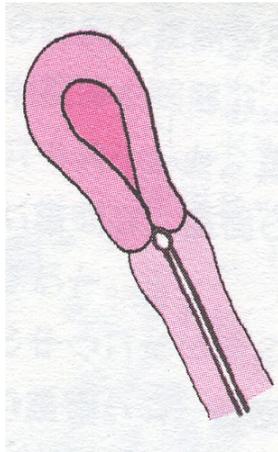
細胞診でがん検診(婦人科編)



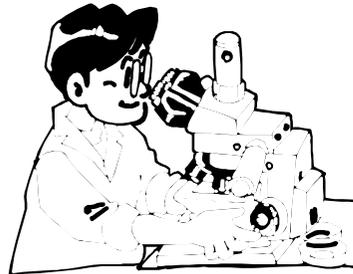
年1回の定期健診が理想です

細胞診検査

子宮頸がんの検査



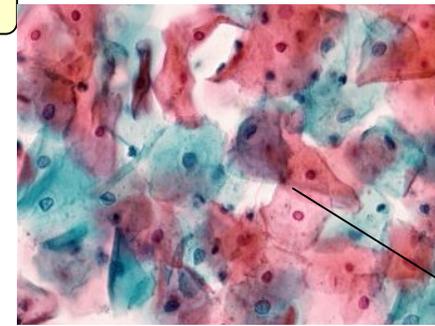
子宮腔部表面や頸管内の細胞を採取器具で擦り取り、スライドガラスに塗りつける。



細胞診は子宮がん検診の第一歩
子宮頸部の細胞を顕微鏡で観察

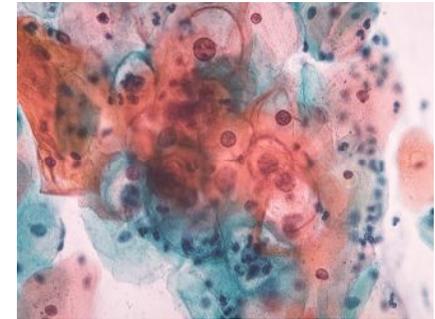
細胞の判定を専門にする細胞検査士や専門医が標本を見て、どの程度の病変かを診断

子宮頸部細胞の顕微鏡写真



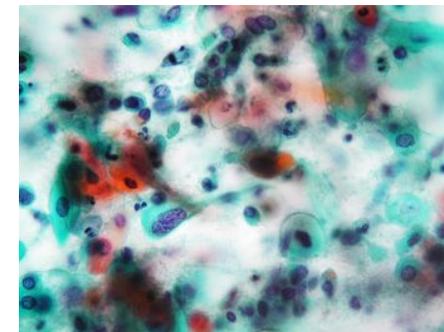
正常細胞

核



異形成の細胞

核大きくなり、2核も出現

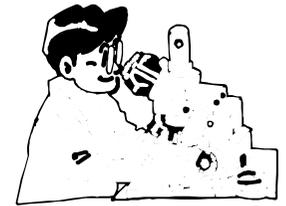


扁平上皮癌細胞

核の大きさや形も様々で多彩

細胞診検査とは..

痰や尿の中の細胞や、子宮の粘膜を細い器具で擦り取った細胞などを染色し、顕微鏡で診断します。
 また、乳腺や甲状腺などは病変部に針を刺して細胞をとりますが、痛みは少なく、短時間での診断が可能です。



検体を採取します

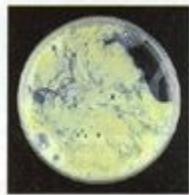
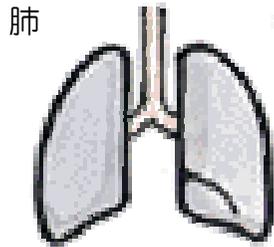


染色を行い、
細胞に色をつけます

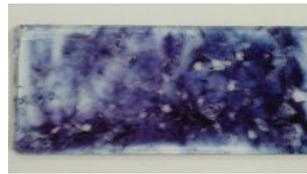


細胞検査士が顕微鏡で細胞を観察し、
診断します (左:良性 右:悪性)

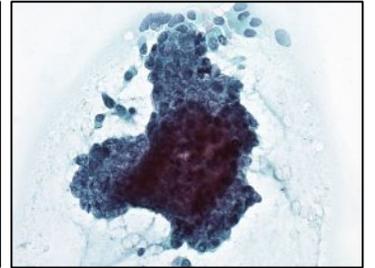
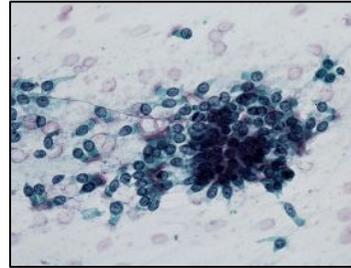
呼吸器



たん
痰



痰をスライドガラス
に塗り付けます



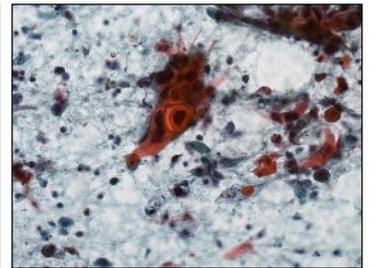
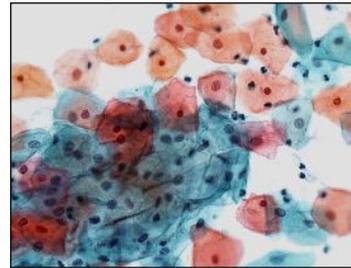
婦人科



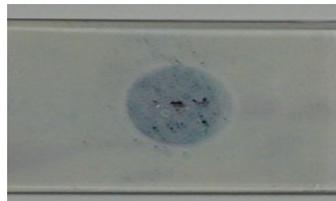
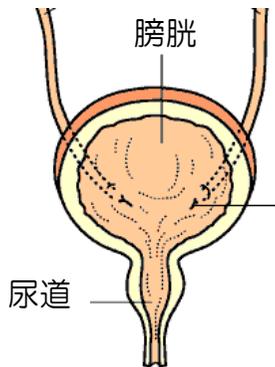
このような細い器具で
子宮の粘膜を採取します



採取器具をスライドガラスに
塗り付けます



泌尿器



尿中の細胞を集めて、
スライドガラスに載せます

